

「こんな図書館になったらいいね」の声を紹介

市では、これまで図書館の今後のスガタについて、図書ボランティア・学校司書の皆さんと話し合いを行ってきました。

また5月からは市内各団体のもとへ出向き『出張座談会』と題し、意見交換の場を設けています。

現場の最前線で活躍いただいている方などからの視点/ヒントとして、意見交換内容(キーワード)の一部を紹介します。

Q. 高浜らしい図書館とは？

- ◆これまで培ってきた強み(子ども向けの視点)はこれからも大切にしていきたいね。
- ◆とくに「えほんの森」は充実していますよね。大きいまちでは置いていない絵本が、高浜にあったりするのうれしいな。



Q. 図書館との関わり方は？

- ◆新型コロナウイルス感染症で学校が休業になったりしたけど、本が心の支えになっているという子どももいるよ。悩んでいる子を救うような図書や気軽に訪れることができる雰囲気づくりがカギだね。

Q. 今後のカタチは？

- ◆最近増えてきた、おしゃべりや飲食しながら本を楽しめる場がいいね。
- ◆子育て・教育サポート拠点と図書館が連携すると疑問に感じたことをすぐ司書に聞いて、問題解決できるから便利だね。
- ◆図書はジャンル別に分かれていたほうが探しやすいし、行きやすいかもね。今の「えほんの森」がなぜいいかという親子で気兼ねなく絵本を楽しめる空間だからだね。
- ◆中学生は図書館を使っているのかな？ 最近は電子図書館の話もあるけど、中学生は紙よりデジタルからのアプローチの方がいいかもね。
- ◆今後も蔵書冊数などを増やして人を集めるのかな？ 地域づくりの拠点にするのかな？ それとも多世代の交流にチカラを入れるべきかな？ 今後のカタチを考えるうえで、求められる(注力する)チカラは何かを考える必要があるね。

これからの 図書館の カタチカラ

こんな図書館になるといいかな

第7回

これからの図書館が果たすべき役割
求められる機能

高浜市において、これからの時代にふさわしい「図書館のあり方」(役割・必要な機能)について、『これからの図書館のカタチ・チカラ』と題して、『広報たかはま』などをとおして市民の皆さんとともに考えていきます。

今号では今後の運営に関して、これまで意見交換してきた方々の声を参考に図書館のスガタを考えていきます。

この連載に関する感想などは、こちらのアンケートフォームから



座談会のようす

ゲストを交えて図書館の可能性・スガタを考えます！

第2回『図書館の新たなカタチ』フォーラム開催

入場無料
要申込み

定員30人

とき 7月31日(土) 午後1時30分～

ところ 地域交流施設「たかぴあ」集会室2・3(青木町六丁目1-15)

リモート講演会も実施します

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更がある場合は、市公式ホームページなどでお知らせします。

申込み方法 7月14日(水)までに氏名・連絡先・住所を明記のうえ、
直接または電話・ファクス・メールで申込み
※応募者多数の場合は抽選。結果は7月26日(月)までに連絡します。

詳しくは
市公式ホームページを
確認してください▶



- ◆図書館での催しに関しては29ページに記載がある「図書館情報」や図書館公式ホームページ、フェイスブックおよびツイッターを確認してください。
- ◆今後も図書館の取り組みなどについては『広報たかはま』においてお知らせします。



▲ホームページ ▲フェイスブック ▲ツイッター

問合せ先 [いきいき文化スポーツグループ](#) ☎ 52-1111(内線331)